

リリース ノート

RSA SecurID Authentication Agent 8.1 for PAM



2018 年 10 月 31 日

はじめに

本書では、RSA SecurID Authentication Agent 8.1 for PAM の新機能、変更点、既知の不具合とその回避方法を記載しています。ソフトウェアのインストールを開始する前に、本書をお読みください。本書には、次のセクションがあります。

- [このリリースの新機能](#)
- [既知の問題](#)
- [サポートとサービス](#)

リリース ノートは更新される場合があります。最新バージョンは、RSA Link (<https://community.rsa.com/>) で参照できます。

このリリースの新機能

このセクションでは、このリリースでの主要な変更について説明します。各変更の詳細については、「RSA SecurID Authentication Agent 8.1 for PAM インストールおよび構成ガイド」を参照してください。

SMS トークンコードと音声トークンコードのサポート。 PAM エージェントがクラウド認証サービス モードに構成されており、アクセス ポリシーに認証方法として SMS トークンコードと音声トークンコードが割り当てられている場合、ユーザーはこれらの認証方法を使用して認証できます。

オペレーティング システムのサポート バージョンが更新されました。 このバージョンの PAM agent は、次のオペレーティング システムのバージョンをサポートしています。

- RHEL 6.10 (32 ビットおよび 64 ビット)
- RHEL 7.5 (64 ビット)
- CentOS Linux 7.5 (64 ビット)
- Oracle Linux 6.10 (64 ビット)
- Oracle Linux 7.5 (64 ビット)
- SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4 (32 ビットおよび 64 ビット)
- SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3 (64 ビット)
- SUSE Linux Enterprise Server 15 (64 ビット)
- Solaris SPARC 10.5 (32 ビットおよび 64 ビット)、ゾーン使用
- Solaris SPARC 11.2 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Solaris x86 10.5 アップデート 11 (32 ビット)
- Solaris x86 11.2 (32 ビット)
- AIX 7.1 TL3 (SP5) Power 6 (32 ビットおよび 64 ビット)
- AIX 7.2 TL1 (SP2) Power 8 (32 ビットおよび 64 ビット)

既知の問題

このセクションでは、このリリースで未解決の問題について説明します。

SELinux システムでの GUI ベースのログイン時にログが生成されない

トラッキング番号 : AAPAM-718

問題 : SELinux が有効になっているシステムでは、Gnome Display Manager などの GUI を使用してログインすると、認証ログが期待どおりに生成されません。

回避策 : なし。

SUSE 12 SP3 で PAM Agent 8.1 での認証成功後、FTP アクセスが拒否される

トラッキング番号 : AAPAM-713

問題 : SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3 では、Authentication Agent 8.1 for PAM を使用した認証が成功した後で、FTP にアクセスしようとすると「アクセスが拒否されました」というメッセージが表示されます。

回避策 : なし。

バージョン 7.1 Patch 2 (7.1.0.2) は、デフォルトの /opt インストールディレクトリからしかアップグレードできない

トラッキング番号 : AAPAM-677

問題 : バージョン 7.1.0.2 がカスタム ディレクトリにインストールされている場合、バージョン 8.x のインストーラは、バージョン 8.x の新規インストールを開始しようとします。アップグレードは、バージョン 7.1.0.2 がデフォルトの /opt にインストールされている場合にのみサポートされます。

回避策 : バージョン 7.1.0.2 をアンインストールして、バージョン 8.x をインストールします。手順については、「RSA SecurID Authentication Agent 8.x for PAM インストールおよび構成ガイド」を参照してください。

解決された問題

このセクションでは、今回のリリースで解決された問題について説明します。

AAPAM-689 - getgrent () システム コールが無効になっている環境では、エージェントが Active Directory グループを解決できないため、認証対象のユーザーか否かの判別ができませんでした。

AAPAM-659 - ユーザーの SecurID 認証がパスワードを使用して成功した後、エージェントがそのパスワードをパスワード値として不正に SSSD (System Security Services Daemon) に渡すため、SSSD 認証が失敗することがありました。

サポートとサービス

RSA Link (<https://community.rsa.com>) で、コミュニティとサポート情報にアクセスできます。RSA Link では、よくある質問への回答や、既知の問題の解決方法を含むナレッジベースを公開しています。また、製品ドキュメント、コミュニティディスカッション、ケース管理なども公開されています。

RSA Ready Partner Program Web サイト (www.rsaready.com) では、RSA 製品との連携が検証されたサードパーティのハードウェア製品およびソフトウェア製品に関する情報を利用できます。この Web サイトでは、RSA 製品とこれらのサードパーティ製品の相互運用について、ステップバイステップで説明した実装ガイドおよびその他の情報を提供しています。

Copyright © 2007-2018 Dell, Inc. or its subsidiaries. All Rights Reserved. Published in the USA.

商標

Dell、RSA、RSA ロゴ、EMC、および Dell または EMC が提供する製品及びサービスにかかる商標は Dell Inc. またはその関連会社の商標又は登録商標です。その他の商標は、各社の商標又は登録商標です。RSA の商標のリストについては、www.emc.com/ja-jp/legal/emc-corporation-trademarks.htm#rsa を参照してください。

知的財産の情報

このソフトウェアには、Dell Inc の知的財産、またはサードパーティから Dell Inc にライセンスが付与されている知的財産が含まれています。このソフトウェアおよびその中に含まれる知的財産の使用は、Dell Inc. またはその関連会社により、またはその代理人により提供される使用許諾契約の条項の内容に明示的に制限されています。

オープンソースライセンス

この製品にはオープンソースコードが含まれており、該当するオープンソースライセンスに準拠して使用が許諾されます。このようなソースコードのコピーをご希望の場合、該当するオープンソースライセンスによって提供が義務づけられているソースコードのコピーを Dell Inc またはその関連会社から提供します。Dell Inc またはその関連会社はかかる配布に際し、妥当な送料および手数料を請求するものとし、Dell 法務 (Dell Legal, 176 South St., Hopkinton, MA 01748, ATTN:Open Source Program Office) まで書面にてご請求ください。